

## 保護者等向け 児童発達支援評価表

公表日： 令和7年12月20日

事業所名：児童発達支援 こばんはうすくら川越岸町教室

対象人数（保護者）12人 回答者数 12人 回収 100%

チェック項目		はい	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11		1		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	10		2		ご利用の人数に対して2~3人に1人、職員を配置させていただいております。今後も安全に過ごせるようにしていきたいと思います。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていますか？また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていますか？	11		1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか？また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか？	10		2		クラス別に教室を分けて集団生活を送れるような空間となっております。段差も少なく、教室改装に伴い教室拡大させていただいております。
適切な支援の提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10		2		事業所内で研修を定期的に行い、クラス会議等を通して保護者様との面談等を踏まえ、児童の対応を今後も積極的に行なって参ります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10		2		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11		1		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか？	10		2		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10		2		保護者様との面談を元に、担当者会議を実施しております。今後もお誕生日月に合わせて実施を行い、半期毎に実施を行なって行きます。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11		1	日によって活動内容が違うので、子どもが飽きずに楽しめています。	ご意見ありがとうございます。引き続きお子様が楽しめ、成長に繋がる活動を行なって行きます。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	8	1	3		児童館等へお伺いすることや公園などへ足を運んだ時に、やり取りをさせていただく場合がございます。今後は、交流の機会を増やしていくよう保育園様と併用されている方のご協力をいただきながら実施を検討させていただければと思います。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11		1		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11		1		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレンツ・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11		1		
保護者への説明等	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解がでていると思いますか。	11		1		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか？	11		1		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか？	11		1		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか？	10		2	きょうだいがいないので、きょうだいの支援について考えた事が無くわからない。	ご意見ありがとうございます。年に1回、保護者会を開催させていただき、交流の場を設けさせていただいております。また同じく年に1回、還元イベントを開催させていただき、保護者様だけではなく、ご家族・ご兄弟の方も参加いただきご兄弟の交流の場としてもご利用いただきたいと思います。ぜひご兄弟がいるご家庭と交流いただければと思います。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか？	11		1		
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていますか？	11		1		
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか？	11		1		
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか？	9		3		個人情報につきましては、事務室に鍵付きの書庫をご用意させていただいており、保管をさせていただいております。
	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか？また、発生を想定した訓練が実施されていますか？	9		3		毎月の予約表にて、避難訓練等を定期的に実施させていただいております。今後といたしましては、マニュアル等を保護者会でご説明させていただく事で周知の徹底をさせていただきたいと思います。
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか？	10		2		緊急時対応マニュアルを作成させていただいており、実施の方を行なっております。訓練の様子等を今後、広報等でお伝えをして参ります。
非常時等の対応	25 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていますか？	10		2		保護者会等で安全面につきましてのご説明等もさせていただきますのでぜひご参加していただければと思います。
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか？	9		3		事故や怪我などのご対応につきましては、日頃より送迎時等でご説明をさせていただいております。今後も事故等がございましたら迅速にご対応をさせていただきたいと思います。
	27 こどもは安心感をもって通所していますか？	11		1		
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか？	11		1		
満足度	29 事業所の支援に満足していますか？	11		1	困り事を伝えると、解決策を提案したり、個別で対応してくださって、とてもありがたく思っています。	ご意見ありがとうございます。引き続き、お困りごと等ありましたら、気兼ねなくご相談いただけたらと思います。モニタリング面談等だけではなく、普段の送迎時でも承れますので、いつでもご相談ください。

## 公表

## 児童発達支援事業所における自己評価結果

公表日

2025年 12月 20日

事業所名

こばんはうすさくら 川越岸町教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9		改装して広くなった。	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9		利用人数に応じて職員人数の調整します。	児童が安心して過ごせるように、人員配置以上の対応をしています。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	1	段差を少なくして教室内歩きやすくしています。	スロープの設置はありませんが、階段には手すりが設置されています。段差が高く感じられる児童には、手すりを持つよう促したり職員には注意喚起し、安全につなげています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	1	体を大きく動かせるスペースがある。	洗面所下の汚れは少し気になります。定期的な拭き上げなどを実施していくことで清潔を保っていきます
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9		不安定な時には個別の部屋を使用できる	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	2	朝礼や終礼を行なっている。	振り返りが一部スタッフに限られる。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		毎年9月10月に行なっている。また、送迎時や面談の際もコミュニケーションを取って把握に努めています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	月1ミーティングを実施している。	サービス提供記録などを活用しながら全体に周知するように努め、一日の振り返り等をしながら業務改善につなげています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	4	他教室や本部の意見を参考にしている。	エリアマネージャーと相談をしながら外部評価を細かく行い業務改善につなげています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内などで研修を開催する機会が確保されているか。	9		法定研修及び社内研修を実施中。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		R7年3月に公表済み。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9		誕生月、半年ごとにモニタリング面談。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		毎月会議を行い、原案を元に検討。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		モニタリング面談後にサービス担当者会議を実施しております	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	2	アセスメントシートなどを活用して半年毎に更新を行っております	使用してツールを皆さんと共有できるよう更新した際には、会議等で読み合せを行って行きます。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		会議を行い支援内容を設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	2	毎月、皆さんにプログラム案を提案していただき活動に反映できるよう努めています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	2	リーダーを分担して実施している。	活動計画書などを作成し、集団プログラムがつからないようにしている。また、職員間でやり取りしながら前日等に行った活動をヒアリングしている。
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9		特性に応じて支援している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		朝礼時に打ち合わせをしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	2	個人間で児童の振り返り等、コミュニケーションをよく取っています。	送迎を完了した後、就業5分前に振り返りを全員で行えるようにしていきます。

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		毎日一人一人記録を取っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		半年に一回、お誕生日月にモニタリングを実施し、更新をおこなっております。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		児発管が参加している。	クラス担当の先生も一緒に行く事で関係機関とのやり取りをスムーズにできるよう努めています。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9		センター主催の連絡会に参加。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行なうなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9		相談員を通じて情報共有を図っている。	
関係機関や保護者との連携	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9		情報共有を行なっている。	
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7	2		今後、児童発達支援連絡会議などの機会において、質疑応答を積極的に行なう事でアドバイスを受けていきたいと思います。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	7		もう少し保育園、幼稚園との接点を増やしても良いかと思う。園庭開放などの日を活用して交流の機会を増やしていく。
	33	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		連絡帳や送迎時にお伝えしている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレンツ・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	5	面談や送迎時にアドバイスをしている	相談支援事業所と連携しながら、保護者様の抱える課題を明確化しています。必要に応じての対応実地し関係機関に依頼しています。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	1	ご契約の際に実施をしております	新入会時不足していたケース有。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		アセスメントシートや定期面談、送迎時などを活用してご利用者様のご意向をヒヤリングしています。	
保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		面談や送迎時に対応している。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9		保護者会や還元イベントを開催している	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		管理者・児発管が対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	1	インスタグラム、HP等更新している	インスタグラムでは、リールやストーリーを活用し、より見やすくしていく。 更新頻度を増やしていく。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		鍵付きに書庫を活用しております。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		9		招待するに至っていない為今後、地域に向けたイベントを実施できるよう企画して参ります。

非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9		定期的に避難訓練を実施しております。	保護者会等でご家族に周知していきます。職員間では、避難訓練実施後等に確認をおこなって行きます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		避難経路を掲示、避難訓練を実施。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9		契約時に確認している。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	3	該当者している児童が現在おりません。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	1	安全計画マニュアルを作成し事務室に保管しいつでも確認できるようにしております。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	2	定期的に避難訓練を実施しております。	保護者会等で避難訓練等の様子等を保護者様にお伝えをする事で周知をしていきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		ひやりはつとがあった際には、職員間で朝礼時等に共有を行っております	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		虐待防止研修を適宜実施。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9		身体拘束適正化研修を適宜実施。	